



2026年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月14日

上場会社名 アクシスコンサルティング株式会社 上場取引所 東
コード番号 9344 URL <https://axc-g.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長C00 （氏名）伊藤 文隆
問合せ先責任者 （役職名）執行役員コーポレート本部長 （氏名）笹井 亮兵 TEL 03 (3556) 1812
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年6月期第3四半期の連結業績（2025年7月1日～2026年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年6月期第3四半期	5,459	—	138	—	146	—	84	—
2025年6月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 2026年6月期第3四半期 84百万円（－％） 2025年6月期第3四半期 一百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第3四半期	16.86	16.81
2025年6月期第3四半期	—	—

（注）2026年6月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2025年6月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年6月期第3四半期	4,669	3,165	67.7
2025年6月期	—	—	—

（参考）自己資本 2026年6月期第3四半期 3,159百万円 2025年6月期 一百万円

（注）2026年6月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2025年6月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2026年6月期	—	0.00	—		
2026年6月期（予想）				35.00	35.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年6月期の連結業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	8,000	—	460	—	460	—	240	48.19

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

- 当社は2026年6月期第3四半期より連結決算に移行しております。詳細は本日公表しました「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。
- 2026年6月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) 株式会社サン・システムプランニング、除外 1社 (社名) -

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(企業結合等関係)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年6月期3Q	5,058,030株	2025年6月期	5,049,150株
② 期末自己株式数	2026年6月期3Q	87,123株	2025年6月期	56株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年6月期3Q	4,982,689株	2025年6月期3Q	5,003,550株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(企業結合等関係)	9

1. 経営成績等の概況

当社は、2026年2月3日に株式会社サン・システムプランニングの全株式を取得し、子会社化いたしました。本件株式取得により、当第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度との比較分析は行っておりません。

なお、参考情報として、前年同期の提出会社の個別財務諸表との比較を記載しております。

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループは、「人が活きる、人を活かす。～人的資本の最大化・最適化・再配置～」をミッションとし、「事業を通じて、新しい価値を創造し、すべての人が活き活きと働く社会創りをめざします。」をビジョンとして掲げております。

近年、グローバル競争の激化、テクノロジーの進展、人口減少といった環境変化のなかで、社会の課題解決と新しい価値やイノベーションの創出が求められております。そのためには、人材を資源 (Human Resources) より資本 (Human Capital) と捉え、不足、偏在するコンサルタントなどの高いレベルの専門性と能力を持った人材を最適配置し、企業や社会の課題解決、価値創造を推進することで、その価値がシェアされ循環し続けていくことが必要とされております。当社グループは、そのような変化に対応し、持続可能な未来に新しい企業価値を提供していくために、コーポレートステートメント「あらゆる課題は、人で解決する。」のもと、課題の発見、解決、価値創造に應えるべく、コンサルタントなどのハイエンド人材領域の人材紹介及びスキルシェア推進による経営・事業課題の解決支援を提供しております。

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、緩やかな景気の回復基調がみられました。一方で、急激な為替変動や物価上昇に加え、中東情勢等を背景とした原油価格の変動によるエネルギーコスト上昇リスクや、世界経済の不確実性など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社においては、第2四半期までの先行投資の効果が当第3四半期において着実に顕在化し、市場環境の回復に加え、人員の増強等による体制強化の効果もあり、人材紹介売上は前第3四半期会計期間と比べ70.4%増と大きく伸長いたしました。また、スキルシェアサービスにおいては、企業の柔軟な人材活用ニーズを背景に、前第3四半期会計期間と比べ50.5%増と引き続き高い成長を維持しております。さらに、当社グループにおいて新たに連結対象となった株式会社サン・システムプランニングの業績が当第3四半期より寄与しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,459百万円、営業利益は138百万円、経常利益は146百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は84百万円となりました。利益面につきましては、人材投資の継続に伴う人件費及び採用費の増加に加え、四半期純利益については前年同期に計上した一過性の利益の反動等もあり減益となったものの、売上の伸長により事業基盤は着実に拡大しております。

なお、当社グループはヒューマンキャピタル事業の単一セグメントであります。当第3四半期連結累計期間におけるサービス別の状況は次のとおりであります。

人材紹介サービス「AXIS Agent (アクシスエージェント)」につきましては、前期末頃から若手を含む中途採用領域を中心にマーケットが回復基調にある中、当社グループにおいては主要顧客である大手コンサルティングファームのマネージャー以上の採用支援案件を安定的に確保しており、市場シェアの拡大とともに、コンサルティング業界におけるプレゼンスは一層向上しております。当社グループの強みであるマネージャー以上の案件を継続的に獲得するとともに、パートナークラスの案件を継続して受注した結果、平均年収および平均手数料率は高水準を維持し、平均売上単価は前期比で上昇しております。一方で事業会社向けのサービスにおいても、認知施策の効果発現による顧客数の拡大や人員増強を背景に決定人数が増加し、総じて当第3四半期連結会計期間における入社決定人数は引き続き前期を上回りました。これらの結果、売上高は2,720百万円（前年同期比35.9%増）となりました。なお、売上単価については高単価案件の影響もあり、今後は一定程度の正常化を見込んでおります。

スキルシェアにつきましては、「AXIS Solutions (アクシスソリューションズ)」が成長軌道に乗り売上を大きく伸ばしており、当第3四半期連結会計期間においても稼働人数を順調に伸ばし、9四半期連続で過去最高の四半期売上高を更新しました。特に認知施策の効果発現等により、事業会社からの案件獲得が順調に進展したことを背景に、売上高は2,608百万円（前年同期比46.5%増）となりました。

また、新たに連結対象となったサン・システムプランニング社に係る業績については、安定的に推移しております。

(参考1) 各サービスの指標

		2025年6月期 第3四半期 累計期間	2026年6月期 第3四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)
人材紹介 AXIS Agent 入社決定人数 ^(注1)	コンサルファーム	303人	345人	+42人	13.9
	事業会社	120人	151人	+31人	25.8
	合 計	423人	496人	+73人	17.3
AXIS Solutions	稼働人数 ^(注2)	1,121人	1,745人	+624人	55.7

(注) 1. 求職者が求人企業に入社後一定期間内に自己都合により退職した場合、紹介手数料の一部を返金する契約を締結しておりますが、当該返金対象となった場合も入社決定人数に含めております。なお、人材紹介(正社員採用サービス)の一部取引について外部提携する場合がありますが、当該提携先で決定した場合は、入社決定人数に含めておりません。

2. フリーコンサルタントの月次の稼働人数の合計となります。

(参考2) 損益状況(前期対比)

(単位: 百万円)

	2025年6月期 第3四半期 累計期間(注)	2026年6月期 第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
売上高	3,782	5,459	1,676	44.3
営業利益	125	138	13	10.8
経常利益	128	146	18	14.1
四半期純利益	250	84	△166	△66.5

(注) 提出会社の個別財務諸表の数値

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は3,689百万円となり、その主な内訳は、現金及び預金2,348百万円、売掛金1,111百万円であります。固定資産は980百万円となり、その主な内訳は、ソフトウェア仮勘定271百万円、のれん231百万円、建物175百万円であります。この結果、資産合計は4,669百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,184百万円となり、その主な内訳は、買掛金388百万円、賞与引当金138百万円、1年内返済予定の長期借入金132百万円、未払金132百万円であります。固定負債は319百万円となり、その主な内訳は、長期借入金134百万円、退職給付に係る負債82百万円、資産除去債務78百万円であります。この結果、負債合計は1,503百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は3,165百万円となり、その主な内訳は、利益剰余金1,707百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2026年6月期の連結業績予想を公表いたしました。詳細につきましては、2026年5月14日に開示いたしました「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	2,348
売掛金	1,111
その他	228
流動資産合計	3,689
固定資産	
有形固定資産	
建物（純額）	175
工具、器具及び備品（純額）	39
土地	0
有形固定資産合計	215
無形固定資産	
のれん	231
ソフトウェア	48
ソフトウェア仮勘定	271
その他	3
無形固定資産合計	554
投資その他の資産	
投資有価証券	26
繰延税金資産	119
その他	64
投資その他の資産合計	210
固定資産合計	980
資産合計	4,669

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間
(2026年3月31日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	388
短期借入金	90
1年内償還予定の社債	7
1年内返済予定の長期借入金	132
未払金	132
未払法人税等	57
賞与引当金	138
返金負債	11
その他	224
流動負債合計	1,184
固定負債	
長期借入金	134
長期末払金	25
退職給付に係る負債	82
資産除去債務	78
固定負債合計	319
負債合計	1,503
純資産の部	
株主資本	
資本金	762
資本剰余金	759
利益剰余金	1,707
自己株式	△70
株主資本合計	3,159
新株予約権	6
純資産合計	3,165
負債純資産合計	4,669

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
売上高	5,459
売上原価	2,471
売上総利益	2,987
販売費及び一般管理費	2,848
営業利益	138
営業外収益	
受取利息	1
受取保険金	11
その他	2
営業外収益合計	16
営業外費用	
支払利息	5
支払保証料	1
その他	1
営業外費用合計	8
経常利益	146
特別利益	
固定資産売却益	1
投資有価証券売却益	0
特別利益合計	1
特別損失	
固定資産売却損	0
特別損失合計	0
税金等調整前四半期純利益	147
法人税、住民税及び事業税	81
法人税等調整額	△17
法人税等合計	63
四半期純利益	84
親会社株主に帰属する四半期純利益	84

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)	
四半期純利益	84
四半期包括利益	84
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	84

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用の計算については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自2025年7月1日 至 2026年3月31日）

当社グループの事業セグメントは、ヒューマンキャピタル事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載は省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年8月20日開催の取締役会決議に基づき、自己株式100,000株の取得を行いました。

また、2025年9月24日開催の取締役会決議に基づき、当社の取締役に対する譲渡制限付株式報酬として自己株式12,933株の処分を行いました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が70百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が70百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	41百万円
のれんの償却額	7百万円

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

当社は、2026年1月30日開催の取締役会において、株式会社サン・システムプランニングの全株式を取得し、子会社化することを決議いたしました。当該決議に基づき同日付で株式譲渡契約を締結し、2026年2月3日付で全株式を取得いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社サン・システムプランニング
事業の内容 システムの設計・開発・試験・運用・保守およびインフラ構築

(2) 企業結合を行った主な理由

対象会社は、長年にわたり安定した顧客取引基盤を有し、主にサーバーインフラ領域を中心としたシステム開発・運用支援事業を展開している企業であります。多くの取引が長期にわたり継続しており、堅牢な事業基盤を背景に、直近においても堅調な業績推移を示しております。

対象会社の有する技術力および顧客基盤と、当社が強みとするハイエンド人材の調達力、案件創出力および営業力を組み合わせることにより、既存事業領域における付加価値向上および収益機会の拡大が可能であると判断したため、本株式の取得を決定いたしました。

同社を当社グループに迎え入れることが、中長期的な成長基盤の強化および企業価値の向上に寄与すると判断しております。

(3) 企業結合日

2026年2月3日（みなし取得日 2026年1月1日）

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得するものであります。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2026年1月1日から2026年3月31日まで

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	456百万円
取得原価		456百万円

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 35百万円

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれんの金額

238百万円

(2) 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力によるものであります。

(3) 償却方法および償却期間

8年間にわたる均等償却

6. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	335百万円
固定資産	209百万円
資産合計	544百万円
流動負債	221百万円
固定負債	106百万円
負債合計	327百万円